

活動名称 (40字以内)	脳・身体と精神のシステム論的研究への誘い			
団体名等	教育学部 心身発達科学専修身体教育学コース			
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順	
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査	
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動		<input type="checkbox"/> 面接	
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	6 人	
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動			
<input checked="" type="checkbox"/> 研究室体験活動				
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う			
大学院学生	<input type="checkbox"/> 含む <input checked="" type="checkbox"/> 含まない			
参加資格等	学部学生			
活動期間	2023/8/1(火) ~ 2024/3/31(日) 8ヶ月間	主な活動予定場所	状況および活動内容に応じて対面またはオンライン(あるいは両者の組み合わせ)で実施	
目的	・研究の現場の雰囲気を感じ、研究者の日常について具体的なイメージを掴む。 ・(既に自分の研究を行っている学生にとっては)異分野の研究に触れる。 ・大学院などの進路を検討する機会・材料とする。			
具体的な内容 (800字程度)	<p>※現地活動を予定しています。コロナウィルス感染状況により、直前に実施中止となる可能性があります。</p> <p>かつて心と身体(からだ)は別々のものとして扱われてきましたが、脳科学をはじめとした近年の科学の目覚ましい発展によって、それらが文字通り、切っても切れない関係にあることが明らかになってきました。そして、健やかな発育や楽しく実りある学習、また生涯通しての健康維持には、心と身体を共に良い状態に保つことが重要だと考えられるようになってきています。とはいえ、具体的なことはまだ殆ど分かっていません。ちょうど今、生命・身体についての基礎的理解が進んできたおかげで、いよいよ、心と身体はどのような関係にあるのか、それらを良い状態に保つには、どのような方策が考えられるか、といった問題に科学的に迫ることの出来る時代が到来したところなのです。私達のコースでは、そうした問題に対して、様々な角度から研究を進めています。</p> <p>この研究室体験活動「脳・身体と精神のシステム論的研究への誘い」では、そのような私達の日々の研究の雰囲気を体験して頂きます。具体的には、興味に応じて、教員や研究員・大学院生と研究の議論を行う、研究ミーティングや論文紹介に参加する、(コロナの状況および希望する活動内容によっては)実験に立ち会うなどのアクティビティを体験して頂く予定です。また、たとえば下記のようなテーマに関して、レクチャーや実習などを行うことも考えられます(参加者の希望と、コース側の準備状況によって、テーマは変わり得ます)。さらに希望と状況によっては、実際の研究に能動的に関わって頂くことも十分に考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無意識に腕が覚える:運動学習の脳内モデル ・脳はいかに発達するか:発達脳科学 ・睡眠の仕組みと意義:睡眠科学 ・学習と情動の脳基盤およびその精神疾患との関わり ・脳は方程式で解るか:理論神経科学 <p>これらの活動を通して、科学の生まれる現場の雰囲気を感じ、研究者の日常について具体的なイメージを掴んで頂けたらと願っています。また、後期課程で、卒業研究など、既に自分の研究を行っている学生にとっては、異なる分野の考え方・研究の仕方に直接触れる良い機会となり、場合によっては、大学院などその後の進路を改めて検討する機会にもなり得るでしょう。活動日時は、参加希望者と打ち合わせて決定します(希望者が多い場合には、こちらから日時を指定することもあり得ます)。</p>			
備考	公式な期間終了後も、本人が希望し、教員・コース側が受け入れ可能な状況であれば、(本人の通常の教育課程における勉学に支障のない範囲で)継続して研究に参加することも可能です(応相談)。その場合、本人の頑張りや力量に加えて、運にも依りますが、第一線で通じる研究成果を上げることも考えられます。			
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載		
	交通費 円 宿泊費 円 計 0 円	奨励金額 0 円		
ウェブサイト等	大学院教育学研究科 身体教育学コース: http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~tkweb/			